

【宛先】 各報道関係機関 信州大学担当記者様

送信枚数(本紙を含む) 1枚

【発信者】 信州大学医学部附属病院広報企画室

TEL 0263-37-2737

FAX 0263-37-3024

用件

記者発表のご案内

大型な聴神経腫瘍摘出と人工内耳植え込みの同時手術（本邦初症例）

この度、当院では、大型な聴神経腫瘍摘出と人工内耳植え込みを同時に実施する、本邦初となる手術を実施いたしました。つきましては、報道関係機関の皆様に向けた記者発表を予定しておりますので、ご多用とは思いますが、是非、取材して下さいますようお願い申し上げます。

記

【日時】 令和7年9月22日(月) 16時～

【場所】 信州大学医学部附属病院 南管理棟2階

【説明者】 金谷 康平（脳神経外科・講師）、吉村豪兼（耳鼻咽喉科頭頸部外科・講師）

【事前申込】 9月17日(水)12:00までに以下のメールアドレスにお申し込みください。

E-mail: byouin_kouhou@gm.shinshu-u.ac.jp

メール本文に、①会社名②参加者名③メールアドレスをご記載ください。

【概要】

この度、当院では、大型の聴神経腫瘍摘出と人工内耳植え込みを同時に実施する、本邦初となる手術を実施いたしました。

これまで困難とされてきた“大型な聴神経腫瘍摘出と聴力温存の両立”を、脳神経外科と耳鼻咽喉科頭頸部外科の専門性を融合させることで達成することができ、本手術は今後の聴神経腫瘍治療に新たな道を開く可能性があります。

聴神経腫瘍は良性腫瘍ですが、聴力が徐々に失われていきます。聴神経腫瘍摘出は高難度な手術であり、手術を行っても聴力を温存することは困難であり、特に腫瘍が3cmを超える大型例では聴力温存が極めて困難です。

本症例では、大型な右聴神経腫瘍を生じており、聴力は大幅に低下している状況でした。また左耳は50年前の突発性難聴で聴力を失っていたため、右側の腫瘍の摘出と人工内耳手術を同時に実現し聴神経を保存しながら、きこえを改善させることが患者の生活の質（QOL）維持に直結する喫緊の課題でした。

このような極めて困難な状況に対し、当院の脳神経外科と耳鼻咽喉科頭頸部外科が密接に連携し、同時手術を実施しました。右聴力を守るべく、耳鼻咽喉科頭頸部外科医が蝸牛に聴神経の状

況をリアルタイムで確認するための電極を留置し、聴こえの指標となる術中電気刺激聴性脳幹反応（eABR）を測定。eABRを指標に、脳神経外科医が安全に腫瘍を摘出しました。摘出後に人工内耳を植え込み、聴覚機能の改善を図りました。

合計9時間5分に及ぶ手術にて、聴神経を温存し、人工内耳を使用し右聴力は改善しました。現在はすでに退院されており、当院外来通院中です。

このように大型な聴神経腫瘍摘出＋人工内耳植え込みを同時手術で実施したのは本邦初であり、耳鼻咽喉科と脳神経外科の密接な連携によって初めて可能となりました。本症例の腫瘍は脳幹を圧迫する大型例（3cm大）でしたが、腫瘍摘出と聴覚機能温存を両立することができ、聴神経腫瘍に対する新しい治療戦略の可能性を示しました。今後、対側聴力が失われている聴神経腫瘍患者にとって、QOLを維持する有望な手術法となることが期待されます。

※このお知らせは、松本市政記者クラブ、地方新聞記者会の各社に直接お送りしています。

<内容に関するお問い合わせ先> 信州大学医学部附属病院 脳神経外科 講師 金谷 康平 TEL：0263-37-2690（脳外科医局） Email：kanaya@shinshu-u.ac.jp 耳鼻咽喉科頭頸部外科 講師 吉村豪兼 TEL：0263-37-2666（耳鼻咽喉科医局） Email：yoshimura@shinshu-u.ac.jp ※当院の外来受診を希望される際は、 かかりつけ医の紹介状をお持ちの上、 「外来予約センター（0263-37-3500）」に電話予約をお願いしております。	<取材に関するお問い合わせ先> 信州大学医学部附属病院 総務課総務係 福島 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 TEL: 0263-37-3410（直通） E-mail: byouin_kouhou@gm.shinshu-u.ac.jp ※お電話による取材はお受けしておりませんので、取材のお申し込みにつきましては、当院ホームページの専用フォームよりお願いいたします。 https://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/interview-inquiry/
--	---



笑顔をつくる、ミライをつくる 信大病院